

専攻建築士紹介



東京ガス(株)
㈱東日本住宅評価センター出向

安部 章

〔生産専攻〕

〔環境設備専攻〕

専攻建築士制度を励みにして

あけましておめでとうございます。

平成15年秋の専攻建築士制度の申請案内をうけて「自分に何ができるか」を再確認することが出来る良い機会と捉え、過去の実務経歴と審査要件を鑑み「生産」と「環境設備」の専攻建築士認定・登録を受けました。

学校を卒業して就職したのは現場の「施工管理」でした。まだ、建築士の資格も取得できず忙しい仕事をこなす毎日でした。やがて、一級建築士、建築施工管理技士を取得し、現場での責任を背負いつつ業務にまい進しました。

その後、現在の会社に転職して、管工事・土木施工管理技士の資格を取得し、主に「ガス給湯・暖房設備工事の施工支援、設計・監理」を行ってきました。

これらの経験から自分の「強み」を専攻建築士として認めていただくことは、誇りに感じると同時に大きな励みになります。

また、認定と同時にCPD制度にも積極的に参加し「建築」全般の継続的な能力の向上に努めるようになりました。

さて、現在は平成12年からスタートした「住宅性能評価制度」の指定住宅性能評価機関にて、昨年より「住宅の性能評価」を業務としております。この仕事は私の経歴からすると建築士の本来業務に一番近いのではないかと考えます。

今後はこれらの経験を生かしつつ自分のスキルの向上と、より一層社会から認められる建築士を目指して研鑽に努めていこうと思っています。

その第一歩として性能評価のみならず、確認・検査業務もできるスペシャリストとしての「法令専攻建築士」認定を次なる目標としてがんばります。